

トピックス

火伏の神「火坊日本総本廟秋葉三尺坊大権現」の
遺徳 ～新潟県長岡市栃尾地区～
原田工業株式会社

●●●●● (HP 寄稿通算回数)

新潟県は日本一神社が多いといわれますが、そのほぼ中央に位置する栃尾は、霊峰守門岳を信奉する守門大明神(巢守神社)が各地に鎮座する他、秋葉神社は、秋葉三尺坊大権現と呼ばれ、秋葉信仰二大霊山の一山として名高く、多くの崇敬を集めています。

秋葉信仰の祖、三尺坊は、平安時代、不動明王三昧の秘法という難行をみごと成就。「飛行自在の神通力」を得、そのときに現れた白狐にカラス天狗の姿でまたがり「もし我名を唱えれば、その声に従い火災盗難を除く」と叫んで栃尾を飛び立ったことから、衆徒が驚き恐れ、社を建てて祀ったといわれています。

現在、秋葉神社では三尺坊の遺徳をたたえ、命日にあたる7月24日の夜に秋葉の火祭りが毎年行われます。祭りは、ほら貝の音とともに始まり、松明を灯す修験者が会場に入り、修験者による降神の儀式が始められます。

宝弓で四方を射る破魔矢の儀、神剣の儀が行われ周囲を清め、結界中央の祭壇が点火されると祭りの熱気は最高潮になり、秋葉真言と火生三昧秋葉の火祭り秘法が、初夏の黒い山々に響き反射し、豪快かつ神秘的、異次元に吸い込まれたかのような空間を体感できます。紅蓮の炎が静まる頃には、無病息災、家内安全を願う火渡りも行われます。

昼は、秋葉神社と奥の院に施された日本のミケランジェロと称される石川雲蝶と小林源太郎の彫刻が必見です。精緻絢爛な作風は見事です。



少し歩けば、栃尾名物ジャンボ油揚げ。発祥は秋葉神社が隆盛を極めていた250余年前、はるか佐渡や上州、会津などから訪れる多くの信者の土産として創案されたとされます。また、上杉謙信旗挙げの地である栃尾は、馬市(越後の三大馬市)で賑わい、商売成立では、買い手と馬喰(売り手)の間で証文代わりに酒を酌み交わし、手づかみで食べられる肴として作られたとも言われます。その大きさは「馬のわらじ」とも例えられたそうです。

栃尾はゴールデンウィーク頃には桜も見頃となり、色々なイベントを行っています。是非、神社・旧跡を巡り、歴史に触れてみてはいかがでしょうか。

その他の見所は「栃尾観光協会 <http://tochiokankou.jp>」